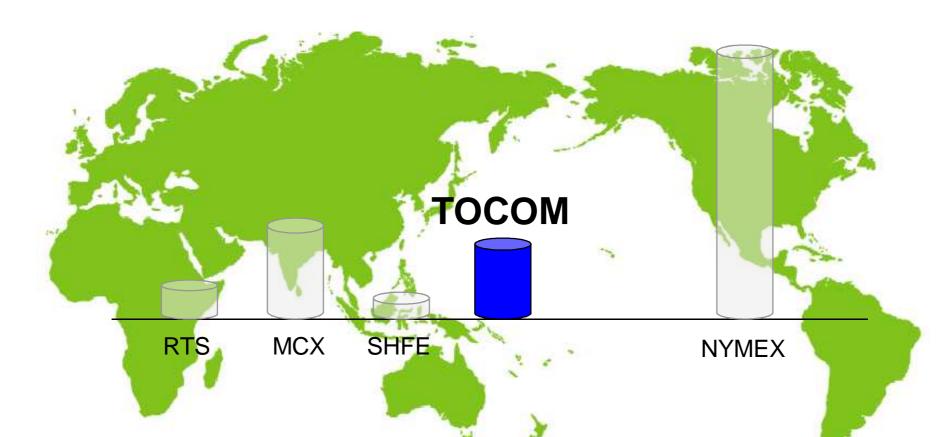


# 東京工業品取引所のご紹介

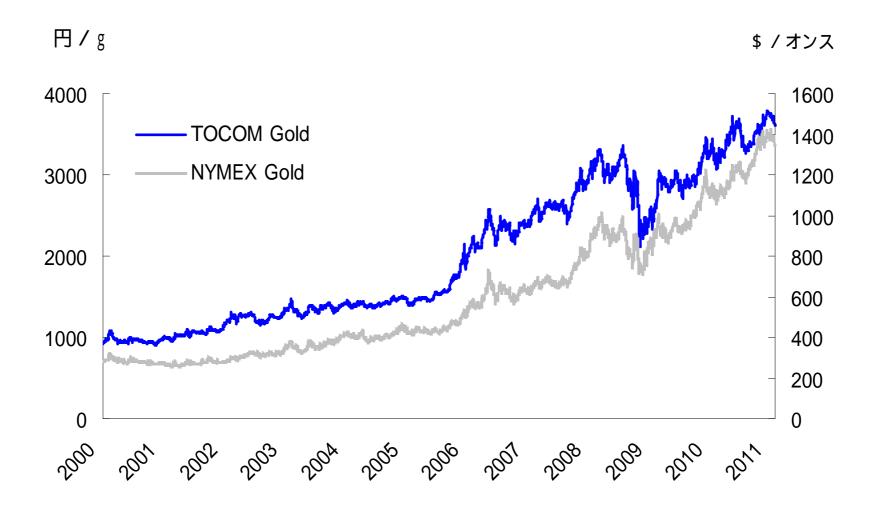
2011年2月19日



RTS: Russian Trading System Stock Exchange MCX: Multi Commodity Exchange of India SHFE: Shanghai Futures Exchange

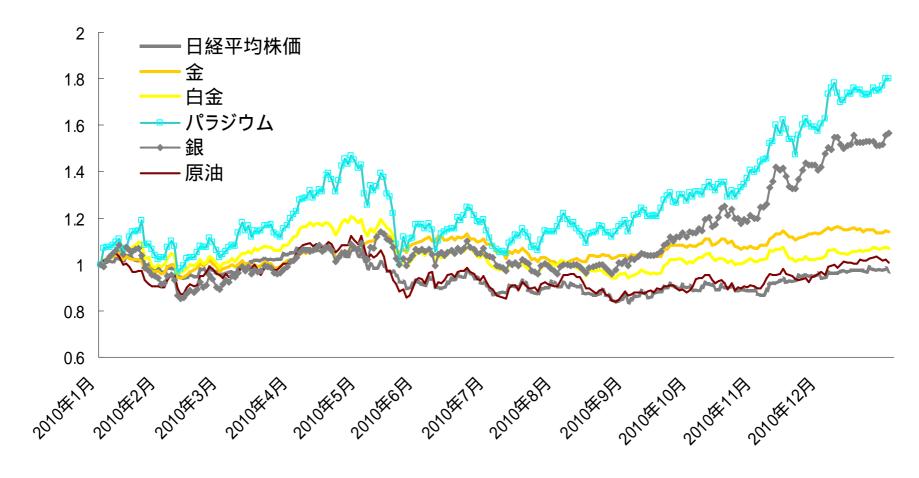
TOCOM: Tokyo Commodity Exchange NYMEX: New York Mercantile Exchange





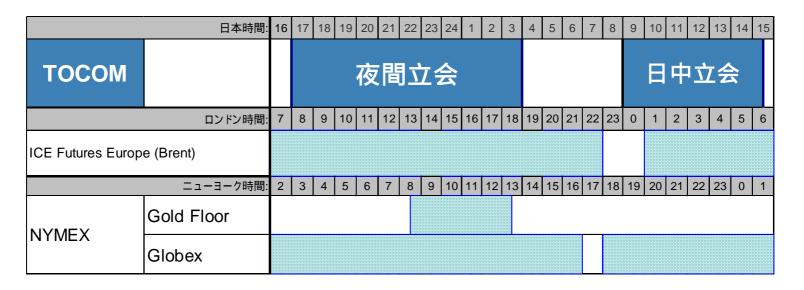


#### 2009年末を1.0としたときの各商品の値動き(2010年1月~12月)





**取引時間: 日中立会 9:00~15:30 夜間立会 17:00~4:00** (ゴムは19:00まで) 2009年5月の新取引システム導入に併せ夜間取引を導入、昼休みも撤廃



TOCOM市場の1計算区域は、「前営業日の夜間立会(17:00 翌朝4:00) + 当日の日中立会(9:00 15:30)」となります。



#### 2011年1月25日9時から26日15時にかけてのTOCOM金先物価格の推移

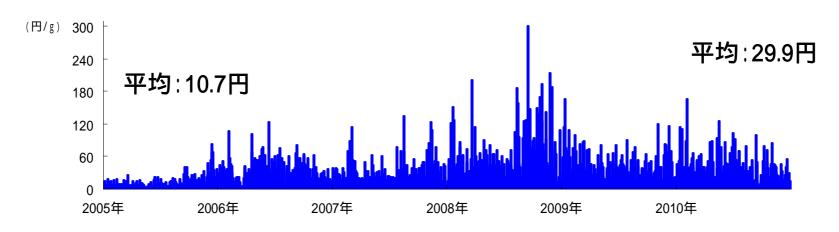




商品	取引単位	1ティックあたり の差損益	証拠金(*1)	レバレッジ (金1グラムあたり 3,600円の場合)
金	<b>1</b> k g	1,000円	90,000円	40 倍
金先物ミニ取引	100 g	100円	9,000円	40 倍

<sup>\*1:</sup>日本商品清算機構が2011年2月中に適用する最低額であり、商品先物取引業者によっては、これ以上の預託額が必要となる場合があります

### 金市場における前日と当日の帳入値段の差(当月限)





証拠金は 清算機関が管理	証拠金は、商品先物取引業者を通じて(株)日本商品清算機構(商品先物取引の清算を行う機関)に預託されます。 商品先物取引業者が破綻するようなことがあっても、預託した証拠金は日本商品清算機構で保全されています。
決済履行は 清算機関が保証	取引の決済については、(株)日本商品清算機構が買い手と売り手の相手側になり取引の決済の履行を保証しています。
預託資産の 分離保管義務	商品先物取引業者は投資家から預かった資産(清算機関に預託された証拠金を除く)について、自己の財産と分離して保管することが法律により義務づけられています。 分離保管の方法として、次の4通りが示されています。 ・信託機関に信託して保全する方法 ・日本商品委託者保護基金(投資家の保護業務を行う機関)に預託して保全する方法 ・弁済事故が生じた場合に、債務の弁済に必要な額を金融機関が支払う契約を締結して保全する方法 ・弁済事故が生じた場合に、商品先物取引業者に代わって委託者保護基金が弁済する契約を締結して保全する方法
ペイオフ制度	商品先物取引業者の破綻などにより、万が一にも投資家が預託した資産が毀損した場合は、毀損した額について1,000 万円を上限として日本商品委託者保護基金が弁済します。





注文

投資家



## 商品先物取引業者

経済産業省・農林水産省の許可を得た

注文



商品先物取引に参加するには、受託を行う商品先物取引業者に取引を委託することになります。



本日の投資戦略フェアには、以下の商品先物取引業者がブースを出展しています!





